



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社 フュートレック
 コード番号 2468 URL <http://www.fuetrek.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦川 康孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部長 (氏名) 西田 明弘

TEL 06-4806-3112

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	600	20.8	136		115		124	
30年3月期第1四半期	496	41.8	228		228		197	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 115百万円 (%) 30年3月期第1四半期 204百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	13.28	
30年3月期第1四半期	21.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	4,883	3,224	62.1
30年3月期	5,061	3,338	61.8

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 3,031百万円 30年3月期 3,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,500	14.0	110		115		125		13.39
通期	3,400	2.4	50		40		20		2.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	9,497,200 株	30年3月期	9,479,200 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	146,460 株	30年3月期	146,460 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	9,344,740 株	30年3月期1Q	9,318,407 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の持ち直し及び企業収益の安定的な推移により、緩やかな回復基調が持続しております。また、当社グループの主力事業である音声認識事業に関連する市場では、自動運転やスマートスピーカーをはじめ、AIやIoTと連携した新しい製品やサービスが増加しています。

このような環境のなか、当社グループは、音声認識事業を中核事業とし、またCRM事業、映像制作・メディア事業などのそれぞれの事業の収益化を目指して、各事業の更なる拡大・強化に努めました。音声認識事業においては、海外に向けた事業展開の足掛かりとすべく、当第1四半期連結累計期間においてSK holdings C&C(韓国)、IFLYTEK CO., LTD.(中国)とそれぞれパートナーシップ契約を締結いたしました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は600百万円(前年同四半期比20.8%増)、営業損失は136百万円(前年同四半期は営業損失228百万円)、経常損失は115百万円(前年同四半期は経常損失228百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は124百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失197百万円)となりました。

セグメントごとの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりであります。

当社グループは、平成29年7月3日にメディアジャパン株式会社の全株式を取得し、同社及びその子会社であるメディアジャパンエンージェンシー株式会社を連結子会社化したことに伴い、前第2四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ライセンス事業」、「翻訳事業」及び「その他事業」の3区分から、「ライセンス事業」、「翻訳事業」、「映像・メディア事業」及び「その他事業」の4区分に変更しております。

また、「ライセンス事業」及び「映像・メディア事業」につきましては、当第1四半期連結累計期間よりそれぞれ「ソフトウェア開発・ライセンス事業」及び「映像制作・メディア事業」に名称変更しております。

さらに、事業内容の類似性及び関連性の観点からセグメント区分の見直しを行い、従来「その他事業」に含めていた株式会社スーパーワンのシステム開発事業分野(基盤事業分野から名称変更)について、当第1四半期連結累計期間より「ソフトウェア開発・ライセンス事業」に含めて表示しています。

前第1四半期連結累計期間の業績については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社メディア総合研究所の全株式を譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より「翻訳事業」セグメントを報告セグメントから除外しております。

これらにより、当第1四半期連結累計期間における当社グループの報告セグメントは、「ソフトウェア開発・ライセンス事業」、「映像制作・メディア事業」、「その他事業」の3区分で構成されることとなりました。

セグメントの名称	第18期 第1四半期連結累計期間 (百万円)	第19期 第1四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
ソフトウェア開発・ライセンス事業	153	187	33
翻訳事業	188	—	△188
映像制作・メディア事業	40	390	350
その他事業	113	22	△91
売上高合計	496	600	103

① ソフトウェア開発・ライセンス事業(音声認識事業分野、CRM事業分野、システム開発事業分野)

売上高は187百万円(前年同四半期比21.5%増)となりました。

音声認識事業分野の売上高は108百万円(同8.7%増)となりました。前第1四半期連結累計期間と比較し、主にランニングロイヤリティに係る売上が増加したことによるものであります。

CRM事業分野の売上高は67百万円(同68.9%増)となりました。前第1四半期連結累計期間と比較し、主に新規顧客からの受注が増加したことによるものであります。

② 映像制作・メディア事業(映像制作・メディア事業分野)

売上高は390百万円(同868.4%増)となりました。前第2四半期連結会計期間において、映像制作・メディア事業を主力事業とするメディアジャパン株式会社及びメディアジャパンエンージェンシー株式会社が新たに連結子会社となりましたが、前第1四半期連結累計期間においては当該両社に係る売上が当社グループの売上として計上されていないため、前第1四半期連結累計期間と比較して大幅に増加いたしました。

③ その他事業(プロモーション事業分野(国際事業分野から名称変更) 他)

売上高は22百万円(同80.2%減)となりました。前第1四半期連結累計期間においては、前第3四半期連結会計期間に全株式を譲渡した株式会社メディア総合研究所のIT事業分野に係る売上が計上されていましたが、当第1四半期連結累計期間においては計上されていないため、前第1四半期連結累計期間と比較して大幅に減少いたしました。また、プロモーション事業分野の売上高につきましては、前第1四半期連結累計期間と比較し、受託業務の減少により減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ177百万円減少し4,883百万円となりました。

総資産の内訳は、流動資産が3,878百万円(前連結会計年度末比119百万円減)、固定資産が1,005百万円(同57百万円減)であります。

流動資産の主な変動要因は、現金及び預金の増加235百万円、受取手形及び売掛金の減少342百万円、仕掛品の増加35百万円によるものであり、固定資産の主な変動要因は、ソフトウェアの減少19百万円、投資その他の資産のその他の減少37百万円によるものであります。

負債の部では、流動負債が485百万円(同63百万円減)、固定負債が1,173百万円(同0百万円減)であります。

流動負債の主な変動要因は、買掛金の減少41百万円、未払法人税等の増加15百万円、流動負債のその他の減少38百万円によるものであり、固定負債の変動要因は、長期借入金の減少3百万円、繰延税金負債の増加2百万円によるものであります。

純資産の部では、利益剰余金の減少124百万円等により3,224百万円(同113百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期連結業績の予想につきましては、平成30年5月11日公表の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,906,636	3,142,108
受取手形及び売掛金	689,467	347,274
有価証券	200,000	200,000
仕掛品	27,924	63,862
その他	177,367	126,938
貸倒引当金	△3,076	△1,722
流動資産合計	3,998,319	3,878,461
固定資産		
有形固定資産	71,032	65,985
無形固定資産		
のれん	290,464	279,642
ソフトウェア	213,937	194,319
無形固定資産合計	504,402	473,961
投資その他の資産		
投資有価証券	389,297	404,582
その他	98,608	60,967
投資その他の資産合計	487,905	465,550
固定資産合計	1,063,340	1,005,498
資産合計	5,061,659	4,883,959
負債の部		
流動負債		
買掛金	118,184	76,364
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	12,744	12,744
未払法人税等	5,646	21,415
賞与引当金	1,423	2,233
その他	160,688	122,552
流動負債合計	548,687	485,308
固定負債		
長期借入金	1,171,147	1,167,961
繰延税金負債	3,327	6,011
固定負債合計	1,174,474	1,173,972
負債合計	1,723,162	1,659,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	724,766	731,399
資本剰余金	911,002	917,635
利益剰余金	1,571,036	1,446,906
自己株式	△70,014	△70,014
株主資本合計	3,136,790	3,025,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,092	5,090
その他の包括利益累計額合計	△8,092	5,090
新株予約権	14,876	2,895
非支配株主持分	194,922	190,766
純資産合計	3,338,496	3,224,678
負債純資産合計	5,061,659	4,883,959

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年6月30日）
売上高	496,691	600,236
売上原価	398,290	476,450
売上総利益	98,401	123,786
販売費及び一般管理費	326,972	260,214
営業損失（△）	△228,570	△136,427
営業外収益		
受取利息	80	65
受取配当金	550	550
業務受託料	900	—
保険解約返戻金	—	22,529
その他	235	231
営業外収益合計	1,765	23,377
営業外費用		
支払利息	1,723	2,322
その他	124	125
営業外費用合計	1,848	2,447
経常損失（△）	△228,653	△115,497
特別利益		
新株予約権戻入益	1,086	8,507
特別利益合計	1,086	8,507
特別損失		
投資有価証券売却損	187	—
ゴルフ会員権評価損	800	—
特別損失合計	987	—
税金等調整前四半期純損失（△）	△228,554	△106,990
法人税、住民税及び事業税	1,718	19,483
法人税等調整額	△23,590	1,812
法人税等合計	△21,872	21,295
四半期純損失（△）	△206,682	△128,286
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△9,471	△4,156
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△197,210	△124,130

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△206,682	△128,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,864	13,183
その他の包括利益合計	1,864	13,183
四半期包括利益	△204,817	△115,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△195,349	△110,946
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,468	△4,156

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。